

学力調査等の状況	
○6学年 国語・「知識及び技能」の全般が全国平均より下回っている。特に語句と語句の関係を表し方の理解や主語・述語との関係が平均より約10%ほど低かった。言葉の関係の理解が低い ため、「思考力、判断力、表現力等」の「C読むこと」のみが65.9%と全国平均を下回っている。それに対し、「A話すこと・聞くこと」・「B書くこと」は東京都・全国より平均が上回っている。 普段の授業の中で、意図的に取り入れている交流による学習の成果が表れていた。 算数・「B図形」以外の全ての項目が東京都の平均より下回っている。特に「C変化と関係」は51.7%と東京都の平均より約8%低い。「C変化と関係」における速さに関する学習は、普 段の授業の中でも理解度が低かった単元になるので、もう一度見直しや復習の必要がある。	

見えてきた課題	
国語・算数共に、共通する課題として、文章理解度の低さが起因となっている。主語・述語や、語句の関係を捉えきれていないことから、書か れている文章の場面を想像することができなかつたり、問題の意味が把握できていなかったりする。これらのことから、国語においては、「C読 むこと」において、物語や説明文の学習の際は、書かれている文に注目させたり、場面、段落の関係・文章構造なども語句に注目させたりし て、改善を図っていく。また、算数においては、すべての単元において「知識及び技能」における基礎基本の事項を繰り返し練習を図り、定 着させつつ、問題における「わかっていること」「問われていること」を意図的に確認させるよう取り組ませながら、改善を図っていく。	
授業をデザインする8つの取組について	
価値ある対話の共有	考えを交流する時間「つながりタイム」を設定し、「自分の考えをもつ」「交流する」という主体的・協働的な学習活動を全教科・領域で展開す る。必然性のある交流になるように、目的や学習形態(ペア・トリオ・グループなど)を工夫して学ぶ意欲を高める。
ICT機器の活用	実物や写真、図などを提示したり、児童の考えを比較したりする際に、実物投影機やタブレット端末、プロジェクターを活用し、児童が学習内 容の理解を深められるように視覚的に支援する。
振り返りの設定	授業の終わりには学習の振り返りを継続的に書かせ、書く力を向上させるとともに主体的に学習する姿勢も育成する。

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
国語科	○学習アプリ「Qubena」を既習事項の復習や確認のために、授業内での活用をさらに増やし効果検証を図る。 ○授業の終わりの学習の振り返りや家庭学習で日記を継続的に書かせるなど、全学年で連携しながら系統的に指導し、書く力を育成する。	○学習アプリ「Qubena」を既習事項の復習や確認のために、チャレンジタイムでも活用する。 ○文章と自分の体験とを結び付けて、感想や考えをもたせていく。 ○授業の終わりの学習の振り返りを継続的に書かせ、書く力や主体的に学習する姿勢を育成する。	○学習アプリ「Qubena」を既習事項の復習や確認のために、チャレンジタイムでも活用する。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもたせていく。 ○各単元において自分の考え書かせたり、文章中の要点をまとめさせたりしていく。 ○授業の終わりの学習の振り返りを継続的に書かせ、書く力や主体的に学習する姿勢を育成する。	○学習アプリ「Qubena」を既習事項の復習や確認のために、チャレンジタイムでも活用する。 ○国語辞典を持たせ、すぐに調べられる環境を整え、語彙を増やしていく。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもたせていく。 ○各単元において自分の考え書かせたり、文章中の要点をまとめさせたりしていく。 ○授業の終わりの学習の振り返りを継続的に書かせ、書く力や主体的に学習する姿勢を育成する。
社会科	○判断の根拠を明確に示しながら考えを述べたり、結果を分析して解釈・考察し説明したりする授業を展開し、考えや思いを伝え合い、高め合う資質・能力を育成する。 ○目的に応じて必要な資料を収集・整理することができる知識・技能や、目的や意図に応じて考えを表現する力を育成する。		○新聞やポスター、リーフレットなど目的に応じて必要な資料を収集・整理することができる知識・技能や、目的や意図に応じて考えを表現する力を育成する。 ○当該単元の確かめを活用して基礎的・基本的な知識理解の定着を図る。	○資料を効果的に活用し、新聞やポスター、パンフレットなど目的に応じて必要な資料を収集・整理することができる知識・技能や、目的や意図に応じて考えを表現する力を育成していく。 ○当該単元の確かめを活用して基礎的・基本的な知識理解の定着を図る。
算数科	○習熟の程度に応じた課題解決学習で自分の言葉で表現する機会を増やし、児童の考えや思いを伝え合って高め合う力の育成を図る。 ○思考力・判断力・表現力の育成に向け、図式化したり、立式方式を工夫したりするなど数学的に考える力を身に付けさせる。 ○診断テストの結果を踏まえ、児童の実態に応じた課題に取り組めるよう、内容を工夫する。 ○東京ベーシックドリルや学習アプリ「Qubena」を活用し基礎基本の定着を図る。		○チャレンジタイムで東京ベーシックドリルや「Qubena」を実施し、既習事項の確実な定着を図る。 ○一人一人が数学的な見方・考え方ができるよう単元毎にグルーピングを行い、習熟度別授業を行う。 ○個人および小集団で考える時間を増やすことを通して、学習課題に対して自分の考えをノートにまとめ、考えを伝え合う力を育成する。 ○学習アプリ「Qubena」を授業内および家庭学習で取り入れ、基礎基本の定着を図る。	○チャレンジタイムで東京ベーシックドリルや「Qubena」を実施し、既習事項の確実な定着を図る。 ○一人一人が数学的な見方・考え方ができるよう単元毎にグルーピングを行い、習熟度別授業を行う。 ○個人および小集団で考える時間を増やすことを通して、学習課題に対して自分の考えをノートにまとめ、順序だてて説明する力を育成する。 ○学習アプリ「Qubena」を授業内および家庭学習で取り入れ、基礎基本の定着を図る。
理科	○観察や実験から分かったことをまとめ、意見交流をして言語活動を充実させ、児童の考えや思いを伝え合い、高め合う態度を養い学びに向かう力を育成する。 ○プリント等を活用して既習事項の復習を行い、当該単元の確かめに活用して基礎的・基本的な知識理解の定着を図る。		○観察や実験から分かったことをまとめ、意見交流による言語活動を充実させる。 ○予想、実験、考察、まとめを行いながら主体的に課題を解決していく力を育成する。 ○自分の考えの理由や根拠を明確にし、話し合いの際に説明できるようにする。	○観察や実験から分かったことをまとめ、意見交流による言語活動を充実させる。 ○予想、実験、考察、まとめを行いながら、複数の考えや調べて得られた情報を比較したり、関連付けたりして考え、主体的に課題を解決していく力を育成する。 ○自分の考えの理由や根拠を明確にし、話し合いの際に説明できるようにする。

⑮-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
生活科	○グループ学習や発表を効果的に取り入れ、考えや思いを伝え合って高め合う資質・能力を備えた児童を育成する。 ○体験活動を精選して年間計画を立てる。	○グループ学習や発表を効果的に取り入れ、お互いの考えや思いを伝え合う場を設定するなどして、互いに高め合う資質や能力・能力を備えた児童を育成する。 ○体験活動を通して、年間計画を立てる。		
音楽科	○グループ学習による話し合いを通して、互いの意見を生かし合いながら考えや思いを伝え合って高め合い表現を工夫して歌うことに取り組む態度を育成する。 ○タンギングや息の強さ、運指に気を付けてきれいな音色で演奏できるよう検定を行い、意欲を高める。	○グループ学習による話し合いを通して、意欲的に楽しく音楽と関わり、様々な音楽に親しませる。 ○それぞれの曲に合った音楽表現を楽しみ、意欲をもって取り組めるようにする。	○グループ学習による話し合いを通して、互いの意見や思いを伝えあい、意欲的に音楽と関わり、様々な音楽に親しませる。 ○音楽表現を楽しみ、意欲をもって取り組ませる。タンギングや息の強さ、運指に気を付けて、きれいな音色で演奏できるようにする。	○グループ学習による話し合いを通して、互いの意見や思いを伝えあいながら、主体的に音楽と関わり、様々な音楽に親しませる。 ○曲想と音楽構造について理解をするとともに、タンギングや息の強さ、運指に気を付けて、きれいに響く音色で演奏できるようにする。
図工科	○試行錯誤・交流しながら発想を広げる時間を設け、考えや思いを伝え合って高め合う資質・能力を育成する。 ○題材のポイントをわかりやすく伝え、意欲を高めるような掲示物を工夫する。 ○長い題材については作業工程を表示し、見通しをもって取り組めるようにする。	○試行錯誤・交流しながら発想を広げる時間を設け、自他の造形活動の面白さや楽しさを味わえるようにする。 ○題材のポイントをわかりやすく伝え、意欲を高めるような掲示物を工夫する。 ○視覚教材を活用し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。	○試行錯誤・交流しながら発想を広げる時間を設けることで、自他の造形活動のよさや面白さに気付けるようにするとともに、すすんで取り組めるようにする。 ○題材のポイントをわかりやすく伝え、意欲を高めるような掲示物を工夫する。 ○視覚教材を活用し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。	○試行錯誤・交流しながら発想を広げる時間を設けることで、自他の造形活動のよさや美しさに気付けるようにするとともに、主体的に取り組めるようにする。 ○題材のポイントをわかりやすく伝え、意欲を高めるような掲示物を工夫する。 ○視覚教材を活用し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。
家庭科	○単元ごとに、家族の一員として自分にできることを話し合い、考えや思いを伝え合って高め合う資質・能力を育成する。 ○どの学習・作業においても自分、友達が安全に取り組む意識の醸成を図る。 ○学習のめあてと振り返りを記入させ、生活に活かせる具体的な実践力を育成する。			○単元ごとに、家族の一員として自分にできることを話し合い、考えや思いを伝え合って高め合う資質・能力を育成する。 ○どの学習・作業においても自分、友達が安全に取り組む意識の醸成を図るため、持ち物の管理や準備・片付けの徹底を図る。 ○学習のめあてと振り返りを記入させたり、自分自身で成果物を作ることで、生活に活かせる具体的な実践力を育成する。
体育科	○学習カードや学習掲示を活用した確かめや振り返りでの言語活動を充実させ、考えや思いを伝え合って高め合う主体的な態度を育成する。 ○全ての児童が運動を楽しめるよう、実態に合わせて、活動や場の工夫をする。学習の中にトリオやグループでの活動を意図的に取り入れ、主体的に取り組む態度を育成する。	○学習掲示や振り返りでの言語活動を充実させ、運動遊びにおける工夫や考えたことを伝える力を養う。 ○全ての児童が運動を楽しめるよう、実態に合わせて、活動や場の工夫をする。 ○体を動かす遊びを友達と協力して行い、意欲的に運動しようとする態度を養う。	○学習カードや学習掲示を活用した確かめや振り返りでの言語活動を充実させ、自己の運動や健康の課題を見付け、その解決についての考えや思いを伝える力を養う。 ○全ての児童が運動を楽しめるよう、実態に合わせて、活動や場の工夫をする。 ○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、すすんで運動を工夫し、協力して取り組もうとする態度を養う。	○学習カードや学習掲示を活用した確かめや振り返りでの言語活動を充実させ、自己の運動や健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を伝える力を養う。 ○全ての児童が運動を楽しめるよう、実態に合わせて、活動や場の工夫をする。 ○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、すすんで運動を工夫し、協力して取り組もうとする態度を養う。
外国語科	○交流的な活動を多く取り入れ、学習の振り返りを書かせたりすることで、互いに考えや思いを伝え合い高め合える資質・能力の育成を目指す。 ○授業を公開したり交流したりして、学校全体の研修・研究体制を充実させ授業改善に努める。			○外国語による対話活動や発表を効果的に取り入れ、お互いの考えや思いを伝え合う場を設定することで、コミュニケーションの素地を育成する。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

⑮-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
総合的な学習の時間	○グループ学習、発表会を効果的に取り入れ、自ら設定した課題解決に向け、目的や意図に応じて考えや思いを伝え合って高め合う資質・能力を備えた児童を育成する。 ○地域の方の協力を得て、米作りや里山の自然を生かした学習に取り組めるようにする。		○調べ学習を中心とし、自ら設定した課題解決に向けて、調べた情報から必要な情報を正確に読み取れるよう育成する。またワークシート等を工夫し、目的や意図に応じて考えや思いを伝え合って高め合う資質・能力を備えた児童を育成する。	○地域の方の協力を得て、米作りや里山の自然を生かした学習を通して、地域の特性や他教科との関連性、横断的なカリキュラムを設け、体験的な活動をもとにした自分の考えや思いを伝え合う資質・能力を備えた児童を育成する。
特別の教科 道徳	○道徳的価値の意義を理解させ、他者の多様な考えを受け止め、考え、認め合い、振り返る場面を意図的に取り入れた授業を創造する。課題の発見、解決に向けた主体的・協働的な学びの中で、児童の考えや思いを伝え合って高め合う態度の育成を図る。	○道徳的価値の意義を理解させ、他者の多様な考えを受け止め、考え、認め合い、振り返る場面を意図的に取り入れた授業を創造する。課題の発見、解決に向けた主体的・協働的な学びの中で、児童の考えや思いを伝え合って高め合う態度の育成を図る。	○道徳的価値の意義を理解させ、他者の多様な考えを受け止め、考え、認め合い、振り返る場面を意図的に取り入れた授業を創造する。課題の発見、解決に向けた主体的・協働的な学びの中で、児童の考えや思いを伝え合って高め合う態度の育成を図る。	○道徳的価値の意義を理解させ、他者の多様な考えを受け止め、考え、認め合い、振り返る場面を意図的に取り入れた授業を創造する。課題の発見、解決に向けた主体的・協働的な学びの中で、児童の考えや思いを伝え合って高め合う態度の育成を図る。
特別活動	○たてわり活動を通して異学年のつながりの活性化を図る。高学年のリーダーシップの基づく異学年の関わりを通して思いや考えを伝え合って高め合う児童を育成する。	○たてわり活動を通して異学年のつながりの活性化を図る。 ○友達と仲良く助け合い、学級生活を楽しくしようとする態度を養う。	○たてわり活動を通して異学年のつながりの活性化を図る。 ○友達と協力し合って、楽しい学級生活をつくるとともに、日常生活や学習に進んで取り組もうとする態度を養う。	○たてわり活動を通して異学年のつながりの活性化を図る。 ○友達と信頼し支え合って、豊かな学級生活をつくるとともに、日常生活や学習に自主的に取り組もうとする態度を養う。 ○学校全体のリーダーとして、学校のためにどんなことができるか考え、下級生の手本となろうとする意識を育成する。
外国語活動	○交流的な活動を多く取り入れたり、学習の振り返りを書かせたりすることで、互いに考えや思いを伝え合い高め合える資質・能力の育成を目指す。 ○授業を公開したり交流したりして、学校全体の研修・研究体制を充実させ授業改善に努める。	○歌やゲームなどの交流的な活動を多く取り入れたり、学習の振り返りを書かせたりすることで、互いに考えや思いを伝え合い高め合う。 ○授業を公開したり交流したりして、学校全体の研修・研究体制を充実させ授業改善に努める。	○歌やゲームなどをの交流的な活動を多く取り入れたり、学習の振り返りを書かせたりすることで、互いに考えや思いを伝え合い高め合える資質・能力の育成を目指す。 ○授業を公開したり交流したりして、学校全体の研修・研究体制を充実させ授業改善に努める。	